



日本共産党 県会議員

松坂ひでき

県政だより

2012年7月号 6月県議会特集
発行 松坂ひでき事務所 有田郡有田川町庄876

米軍オスプレイ低空飛行反対!

松坂県議の質問に知事表明



6月県議会は、大飯原発再稼働や消費税法案強行、米軍用機オスプレイ配備・低空飛行訓練などが政治の焦点となる中で開かれました。
松坂県議は25日に本会議で一般質問し、あらぎ島を生かした地域づくりの課題や、県営ダムの操作改善、県内軍事訓練などを取り上げました。議案の採決では、関西広域連合の拡大につながる一議案に反対。学校給食の放射能検査を含む補正予算案や、津波避難路沿いの建築物に耐震性を求める条例案など16議案に賛成しました。

危険な

オスプレイ訓練に
反対すべきと
知事にせまる

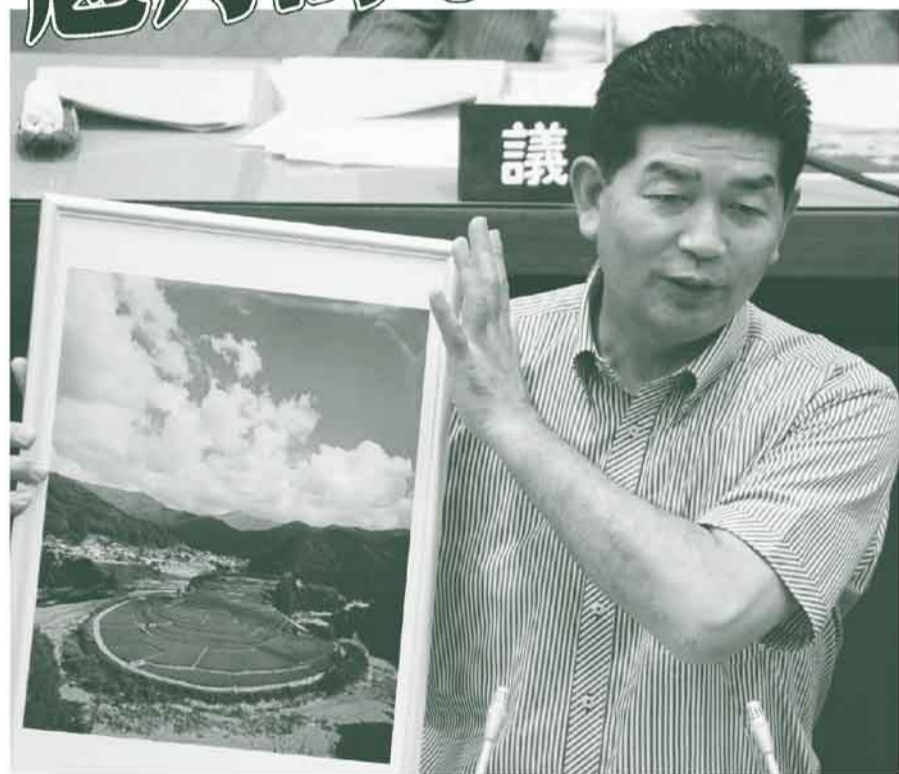
米軍の新型輸送機オスプレイの沖縄配備と全国での低空飛行訓練計画が大問題となり、その中の「オレンジルート」が和歌山県上空を使用することが明らかになりました。
松坂県議は質問で、オスプレイが4月と6月にも墜落事故を起こしているように、開発段階から

事故の絶えない欠陥機であること、さらに非常着陸機能がなくて日本の航空法では飛行許可が出ない航空機だと批判。県として抗議・拒否するよう求めました。
仁坂知事は、「これまで米軍機の低空飛行に対し、防衛省を通じて米軍に訓練中止を強く申し入れてきた。現在の案には反対だ」と答弁しました。抗議の輪は全国に広がり、沖縄県・山口県をはじめ、全国の知事の反対表明が続いています。



オスプレイの使用が予定されている低空訓練ルート

「あらぎ島」を生かした魅力的な地域づくりを!



あらぎ島のパネルを手に質問する松坂県議 (6月25日)

美しい棚田風景で有名な「あらぎ島」は、現在国の「重要文化的景観」の選定をめぐらせていて、来年秋に安諦の2地域で「過疎集落支援総合対策」を今年からスタートさせています。
県は清水地域の西八幡からスタートさせています。

松坂県議は、あらぎ島の景観保全の取り組みを柱にした、特産品や地元産業の開発、食や文化を通じた交流が、一過性のものとならずに定着・発展できるように、各分野連携した県の支援を求めました。
仁坂知事は「県としても地域の動きにも参画しながら、持続的かつ広がりのある地域づくりに取り組む」と答弁しました。



原発ゼロをめざし 原発再稼働反対!

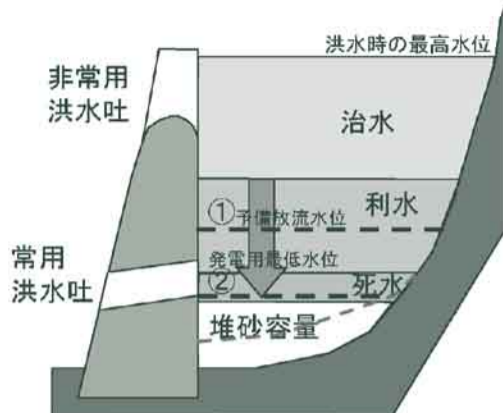
福島原発事故の原因分析や各地の原発安全対策もこれから、10数万人がいまだに原発からの避難生活を余儀なくされている段階だといふのに、野田政権は、自民党県議団は関西電力に、野田政権は、対して大飯原発再稼働を強引に関西電力大飯原発再稼働を強行しました。また仁坂知事は再稼働容認で関西広域連合をリードしたとされ、書案も提出しました。議会内外で世論と力を合わせ、原発ゼロ・自然エネルギーへの転換を求めてゆきます。

を申し入れました。国民の怒りの声は収まるどころか、インターネットなどを通じて広がる一方です。
共産党県議団は県に再稼働容認に抗議する申し入れをすることにも、6月議会では一般質問でとりあげ、意見書案も提出しました。

昨年の12号台風を教訓に

ダム操作を一層改善!

緊急時におけるダム利水容量の有効活用



〈容量配分図(洪水期)〉

※概念図であり、縮尺や縦横比等は異なる。

		二川ダム
低下水位	現行①	187.6m
	新運用目標②	179.4m
現行からの変更点		可能な限り(常用洪水吐下端まで)水位を低下
確保容量 ①-② (計画上の治水容量)		+586万 ³ (1,440万 ³)

※予測(放流開始)の時期、降雨・流出状況によっては、目標低下水位まで下がらない場合もある。
 ※予備放流水位：洪水が予測されるときに現行のルールで低下させることができる最低の水位。
 ※H17年に改善した運用規定では、中小洪水について予備放流水位を181mまで下げることができる規定を整備済み。

県と関西電力は、昨年の台風災害を教訓に、ダムの設計を超えるような大雨が予想される時には、発電用に貯めている分も事前に放流してダムの治水容量を増やすことと合意し、二川ダムをはじめ、椿山・七川の県営3ダムと関電殿山ダムで6月か



から運用を始めました。これは「発電優先から治水優先のダム運用へ」と求めてきた県民の声が、県と電力会社を動かした大きな成果です。松坂県議は7年前の発電所売却時の操作改善に加えて、今回の操作改善が実現したことを評価するとともに、それでも効果は限定的であることを指摘し、不十分な河川整備、降雨予想などの情報提供を一層進めるよう求めました。

県立自然公園「煙樹ヶ浜」で自衛隊水際地雷訓練



7月6日に煙樹ヶ浜でおこなわれた、自衛隊による訓練開始式典

仁坂知事は「重要な観光資源だが、防衛施策は国民にとって大事な仕事。地方自治体も協力するのが当たり前だ」と答弁しました。

このほど県は、自衛隊をもつ煙樹ヶ浜は県民の貴重な財産・憩いの場であり、全国的にも県民が自由に出入りできる自然公園でこのような軍事訓練をしている例はないと指摘。わがもの顔で軍事訓練をするこ

とは許せないという県民の声を示して知事にせまりました。

- 松坂県議の質問項目
- 本会議質問
- 1、「あらぎ島」を生かした地域づくり
 - 2、「西八幡」「安諦」地域の過疎集落支援総合対策
 - 3、あらぎ島など地域資源を生かした魅力的な地域づくり
 - 4、県営ダム操作改善



県会議員
松坂ひできの

東奔西走!



●「ふれあいの丘」を出発会場にした「きのくにラリー2012」で今年もスタートフラッグを振りました。(有田川町久野原 6月23日)



●地域の皆さんで運営する北浜町の休憩所です。冷たいお茶をいただきました! (湯浅町北浜町 6月24日)



●放置船の撤去(行政代執行)をしています。県では津波や災害時に危険な放置船の撤去をすすめています。(広川町広湾 7月10日)



●季節はずれの台風で増水する有田川。操作改善にもとづき前日夕方から前もって放流したので、余裕をもって洪水調節ができました。(田殿橋 6月22日)



●地元から要望をいただいていた国道424号の段差がきれいに補修されました。(有田川町修理川)

- 1、景観支障防止条例の廃止対策相談状況
 - 2、紀三井寺競技場の夜間利用料金設定
 - 3、「避難路沿い建築物条例」案
 - 4、県内における軍事訓練計画
- 建設委員会での質問
- 1、景観支障防止条例の廃止対策相談状況
 - 2、紀三井寺競技場の夜間利用料金設定
 - 3、避難路沿い建築物条例の耐震化・撤去促進事業が必要では
 - 4、県内における軍事訓練計画